

あ か さ き

佐世保市立赤崎小学校

文責 校長 鶴田 和久

みんな よくがんばりました。前期終業式です

令和2年度の前期が最終日を迎えました。本日、終業式において、子供たちに向けて、以下のような話をしました。

今日は、前期最後の日、終業式がある日です。

このことは、4月から始まった赤崎小学校の今年1年間の学習が半分終わりましたということの意味しています。どうでしたか。自分が決めたためあてをしっかりと達成、最後までやり抜くことができましたか。

今日、この後、自分の学級に帰り、それぞれの担任の先生から、あゆみをもらいます。

1年生は、小学校に入学して初めてのあゆみですね。このあゆみには、前期の間、皆さんがどんな学校生活を送ってきたのか。担任の先生がしっかりと見て、つけられています。○やなどの成績の部分もありますが、最後の方に先生方からのことばが書かれたところがあります。あなたたち一人一人のよいところ、がんばっているところ、ここをがんばればもっとよくなる場所、そういったことばが書かれています。

校長先生はここにいる赤崎小学校全員のあゆみを読ませてもらいました。ここで、その中の幾つかを紹介します。

「毎朝、元気にあいさつすることができました。朝の準備を素早くすませ、アサガオの水かけや読書に取り組んでいました。困っている友達のお手伝いなどいろいろな場面で自分で考えて行動する姿が見られ、友達から頼りにされています。」

「帰りの会では、その日の楽しかった出来事を笑顔で話すことができました。友達のよい行いもしっかりと見て、きちんと報告することができました。」

「常に全力で取り組む「やる気」と人の話を聞く 素直さ があり、自分を伸ばすための大切な力をもっています。学習面では、漢字の練習に意欲を持って取り組み、家庭学習のノートもていねいに書くことができました。」

「けじめのある態度できまりを守り、学習面、生活面ともに、今やらなければならないことに誠実に取り組むことができました。また、授業中は、人の話をうなずきながら聞いたり、自分の考えを積極的に発言したりしている様子から集中していることがわかります。」

「委員会活動では、最後まで責任をもって取り組んでいました。トイレのスリッパ並べなどみんなのことを考えた行動を進んで行うことができました。算数の学習では苦手だという思いがあるようでしたが、あきらめず一つ一つの問題にていねいに取り組んでいるので、ちゃんと力が着いてきています。」

「困っている友達を見過ごせない優しさと正義感があります。様々な場面でのさりげない声かけやお手伝いにたくさんの友達から感謝されています。学級の係や委員会としての仕事に責任感をもって取り組むことができました。」

どうですか、1年生のみなさんにも分かりやすくするためにことばは少し換えていますが、これは、担任の先生からあなたたちに贈られたことばです。今紹介したのは、その中の一部ですが、どれもみなさんががんばっている姿が伝わってくるものばかりでした。

もちろん、まだまだがんばらなければいけないこともあるでしょう。毎日の生活の中でくじけそうになるときもあると思います。でも、途中で投げ出さずに最後までがんばっていきましょう。先生が好きなことばに、こんなことばがあります。

「エベレストよ。今回は私たちの負けだ。だが、必ず戻って登ってみせる。なぜなら、山はこれ以上大きくならないが、私はもっと成長できるからだ。」

これは、エベレストというとても大きな山の頂上まで登ろうとして失敗してしまった時のことばです。

前期、よく頑張りました。校長先生は、あなたたちのがんばっている姿にとてもうれしく思います。

これからも、前期にがんばったことを生かして、さらに、「あかるく、かしこく、ささえあい、きたえる」ことができる「あかさき」の子どもたちになってください。

4日後の10月13日(火) 後期が始まります。また、元気のよいみなさんの笑顔が見られることを楽しみにしています。

全校スローガンを実現するために

「全校スローガンを実現するための取組を決めよう」

これは、9月の代表委員会で話し合われたテーマです。

ちなみに赤崎小学校、今年度の全校スローガンは

『協力し合い、きまりを守る 元気で優しい赤崎っ子』

です。話し合いの結果、

続けて取り組んでいくこととして、

はさみ歩き(はしらず、さわがず、みぎがわを歩く)

あいさつ運動

友達を大切にする

という3つの努力目標が決まりました。全校で生活委員会の月別目標と合わせて取り組むのです。そしてその他に、この3つの中から特に頑張りたい取組を各学級で1つ決め取り組むのです。

代表委員会が行われた翌日から、早速学校の中では、

「○人とあいさつしたよ。」とか、「挨拶をしてほめてもらった。」

という子供たちからの声が聞かれるようになりました。その他にも、最近聞かれなくなったなあと思っていた

「ここでは走ったらだめなんだよ」

と、お互いに注意をしあう声も聞かれるようになってきました。

この取組を職員に説明をし、協力依頼を行った職員は、その説明の際に

「赤崎小学校をより良くするためにはどうすればよいかということについて、子供たちが自分たち自身の問題としてとらえ、真剣に考え、取り組んでほしいと思い、この議題を話し合わせた。」という趣旨の発言をしていました。その発言には、熱い思いが込められていると感じ、うれしく思いました。

自分たちの学校をより良くするためにどうすればよいか、自分たちで考え実践していく。ぜひ、頑張ってほしいと思います。一番難しいのは、継続することだと思います。最初は、頑張っていた取り組みも時間が経つにつれ勢いを失っていくことは往々にしてあることです。

ご家庭や地域におかれましても、時折、

「はさみ歩き、がんばっている？」

「さすが、あいさつ運動に取り組んでいるだけあるね。」

などと、励ましていただけるとありがたく思います。

赤崎の子どもを家庭、地域、学校の中心において、同じ方向を向いてしっかりと育てていくために。ご理解の上、ご協力をよろしくお願いいたします。

全校スローガン実現のための取組として、この他に交流遊びを行うということも決まりました。

1年生と6年生、2年生と5年生、3年生と4年生が昼休みに、体育館で行うということです。このことについては、今後それぞれの組み合わせの中で上の学年が計画を立て実施していきます。今後の展開を楽しみにしていきたいと思います。